

3) 調査方法

調査は各調査地点に 5m×5m の方形枠（コドラート）を設置し、出現種、重要な大型底生生物及びサンゴ類の生息状況（位置、範囲、写真撮影等）を記録しました。また、各枠による環境影響の検証が可能となる様、枠周辺約 10m 四方の大型底生生物及びサンゴ類の出現種について記録を行いました。さらに、二枚貝などの埋在性生物の生息状況を確認するために、枠周辺で 0.5m×0.5m×深さ 20cm×4 箇所について掘り取りを行いました。

海草藻類、サンゴ類、大型底生生物等の海域動植物の環境影響評価を行う上で、これらを捕食する魚類について、各定点の周辺（50×50m）において 30 分間の潜水目視観察を行い出現種、個体数について記録を行いました。また、定量的なデータを取得するために枠より沖側と岸側に 10m の測線を設定し、測線上から観察できる魚類について種別の個体数を記録しました（図 6.2.1-2 参照）。

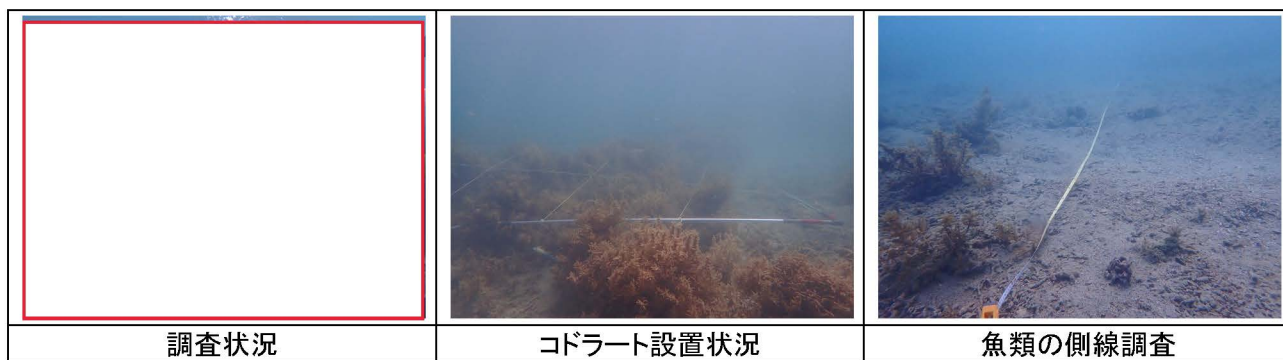


図 6.2.1-2 調査状況

4) 調査結果

(1) 大型底生生物

大型底生生物の結果概要は表 6.2.1-3 に、枠内における主な優占種の生育状況は図 6.2.1-3 に、分類群別の出現状況は図 6.2.1-4 に、確認種一覧は表 6.2.1-4 に示すとおりです。

大型底生生物の確認種類数は夏季が 21～32 種（周辺 25～43 種）、冬季が 18～22 種（周辺 33～45 種）であり、分類群別では刺胞動物が 14 種、軟体動物が 86 種、節足動物が 58 種、棘皮動物が 19 種、脊索動物が 15 種、その他（肉質鞭毛虫、海綿動物、環形動物）が 7 種の合計 199 種が確認されました。

季節別では、全ての地点において冬季より夏季の方が多く出現しており、地点別には枠内では夏季が St.5、冬季が St.2 で、周辺では夏季が St.3、冬季が St.5 で最も多くの種が確認されました。

枠内において、6 個体以上確認された優占種は、夏季が肉質鞭毛虫のゼニイシ、刺胞動物のミナミエダウミヒドラ、棘皮動物のツマジロナガウニ等 2～4 種であり冬季が肉質鞭毛虫のゼニイシ、節足動物のサンゴフジツボ科、棘皮動物のツマジロナガウニの 7 種でした。肉質鞭毛虫のゼニイシはいずれの地点、季節において優占種として 6 個体以上が確認されました。

重要な大型底生生物の確認種一覧を表 6.2.1-5 に、重要な種の写真を図 6.2.1-5 に示しました。確認種のうち環境省レッドリストや沖縄県レッドデータブック等で指定されている重要な種は軟体動物でヘソアキトミガイ、トウヨウタマガイ、クリイロキリオレ、リュウキュウムシロ、シマダコ、アコヤガイ、ツクエガイ、ヒメシャコ、ミクニシボリザクラの 9 種を確認しました。

枠内の重要な海域動物（大型底生生物）の生息状況（個体数・面積）を表 6.2.1-6 に、サンゴ類を含めた重要な海域動物の生息状況を、図 6.2.1-6～図 6.2.1-15 に示しました。枠内で確認された重要な種は、夏季に St.1 でシマダコ（生息面積 0.041 m²、1 個体）、ヒメシャコ（生息面積 0.003 m²、1 個体）が確認され、冬季にはヒメシャコ（生息面積 0.003 m²、1 個体）その他の地点では、重要な種は確認されませんでした。

表 6.2.1-3 海域動物の調査結果概要

【夏季】

項目	St.1		St.2		St.3		St.4		St.5		合計
	枠内	周辺	枠内	周辺	枠内	周辺	枠内	周辺	枠内	周辺	
刺胞動物	2	4	2	2	0	4	2	0	1	1	8
軟体動物	10	7	5	6	4	17	6	8	8	8	50
節足動物	4	10	5	9	4	11	6	10	9	6	30
棘皮動物	3	4	3	5	4	5	2	3	6	4	12
脊索動物	4	5	5	2	6	4	5	3	6	6	11
その他	2	2	3	3	3	2	3	1	2	0	4
合計	25	32	23	27	21	43	24	25	32	25	115
優占種 (r:6個体以上)	ゼニシ(c) 普通海綿綱(r) ミナミエダウミヒトラ(r)		ゼニシ(cc) モシノスナコ(r) ツマジロナガウニ(r) ウスホヤ科(r)		ゼニシ(r) フトコ助イ(r) ツマジロナガウニ(r)		ゼニシ(+) ヤハスアサヒ(r)		ゼニシ(c) サンゴフシツボ科(r) ホクロシオリエ(r) ツマジロナガウニ(r)		-

【冬季】

項目	St.1		St.2		St.3		St.4		St.5		合計
	枠内	周辺	枠内	周辺	枠内	周辺	枠内	周辺	枠内	周辺	
刺胞動物	1	2	2	2	1	3	1	0	2	3	10
軟体動物	5	9	7	13	4	13	3	15	3	16	57
節足動物	3	11	2	9	3	11	4	8	4	13	42
棘皮動物	2	5	2	4	5	8	2	4	5	4	16
脊索動物	5	4	6	7	4	6	3	4	5	6	14
その他	3	3	3	3	2	1	5	2	2	3	7
合計	19	34	22	38	19	42	18	33	21	45	146
優占種 (r:6個体以上)	ゼニシ(+) 普通海綿綱(r) ツマジロナガウニ(r)		ゼニシ(cc) ミナミクロボヤ(r)		ゼニシ(c) ツマジロナガウニ(r)		ゼニシ(cc)		ゼニシ(cc) サンゴフシツボ科(c) コチマリウニ(r) ツマジロナガウニ(r) ナツメホヤ科(r)		-

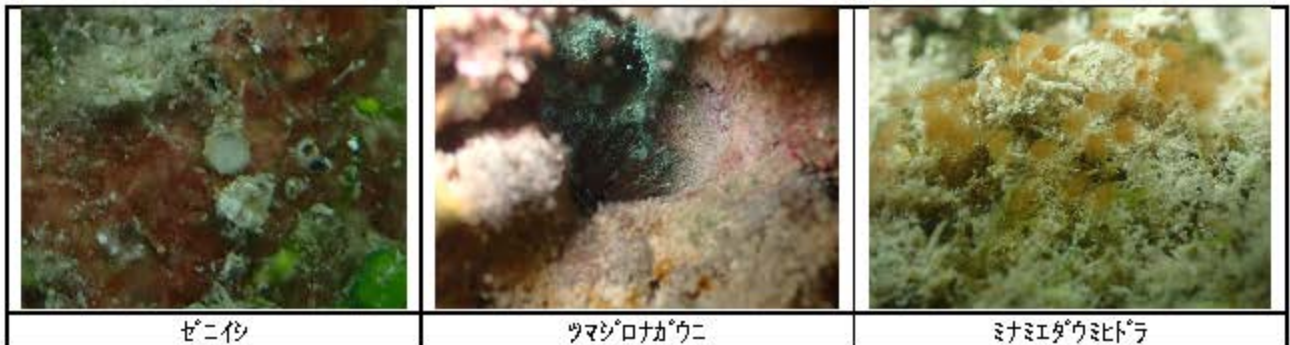


図 6.2.1-3 枠内における主な優占種の生息状況

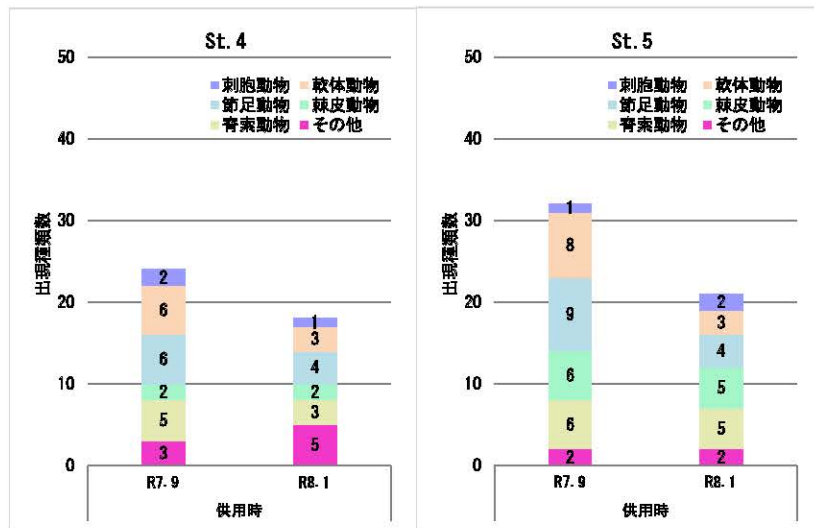
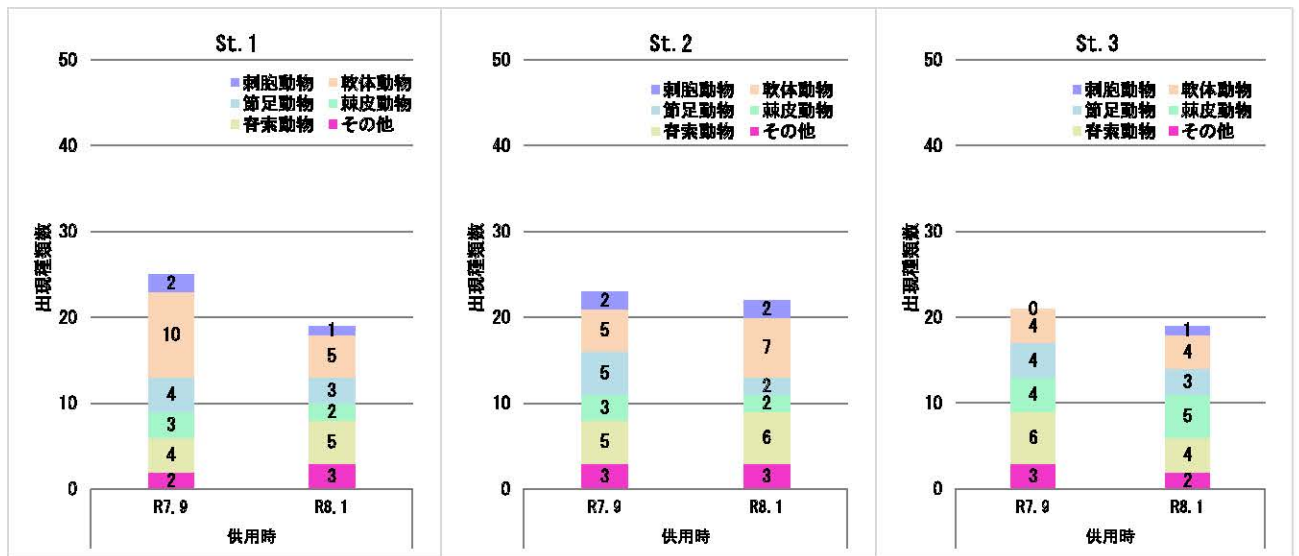


図 6. 2. 1-4 分類群別の出現状況

表 6.2.1-4 大型底生生物の確認種一覧 (その1)

No.	門	綱	目	科	種名	学名	夏季 (R7.9)										冬季 (R8.1)										
							St. 1		St. 2		St. 3		St. 4		St. 5		St. 1		St. 2		St. 3		St. 4		St. 5		
							株内	周辺	株内	周辺	株内	周辺	株内	周辺	株内	周辺	株内	周辺	株内	周辺	株内	周辺	株内	周辺	株内	周辺	
1	肉質鞭毛虫	根足虫	有孔虫	リリス	ギニシ	<i>Marginopora vertebalis</i>	0	0	cc	0	r	0	+		g		+	0	cc	0	c		oo	0	oo	0	
2				アハシゴ	ミシゴ	<i>Mniacina mniacea</i>			r	0	rr								0								
3	海綿動物	普通海綿	—	—	普通海綿綱	PORIFERA	r	0	rr	0	rr	0	rr	0	rr			r	0	rr	0	rr	0	rr	0	rr	0
4	刺胞動物	ヒトコ虫	花ケガ	ハクシトド	ハクシトド	<i>Halocoryle disticha</i>							rr						rr		rr					0	
5				ミシゴ	ミシゴ	<i>Myrionema amboinense</i>	r	0	rr	0			rr					rr			0						
6				軟ケガ	カガキ	<i>Lytocarpia niger</i>															0						
7				—	ヒトコ虫綱	HYDROZOA																		rr			
8				鉢虫	冠ケガ	イテ	<i>Stephanocoryphus racemosum</i>	0	rr		0		rr	0				rr	0						rr	0	
9				花虫	カトカ	カトカ	<i>Sarcophyton glaucum</i>			0		0															
10						カトカ属	<i>Lobophytum</i> sp.		0																		
11				サキ	—	サキ目	GORGONACEA																			0	
12				サキ	サキ	サキ	<i>Palythoa (Protospalythoa) yamagii</i>											0									
13						サキ	<i>Palythoa tuberculosa</i>	rr	0																		
14				サキ	サキ	サキ	<i>Anemonia</i> sp.													0							
15						サキ	<i>Heteractis aurora</i>														0	rr					
16						サキ	<i>Radianthus crispus</i>				0																
17				サキ	サキ	サキ	Discosomatidae				0						0										
18	触手動物	苔虫	—	—	苔虫綱	BRYOZOA																	rr				
19	軟体動物	多板	サシ	サシ	サシ科	Clitoridae								0													
20				古腹足	シキ	シキ	<i>Trochus maculatus</i>				0																
21						シキ	<i>Tectus pyramis</i>				0								rr	0							
22						シキ	<i>Eurytrochus cognatus</i>					rr								0							
23						シキ	<i>Chrysostoma paradoxum</i>													0							
24						シキ	<i>Stomatella imperiusa</i>					0											0				
25						シキ	<i>Narce (Narce) stenogrus</i>	0													0						
26				新生腹足	サシ	サシ	<i>Cerithium punctatum</i>																	0			
27						サシ	<i>Rhinoclavis aspera</i>				0														0		
28						サシ	<i>Strombus (Conomare) luhuanus</i>													0				0			
29						サシ	<i>Lambis lambis</i>						0									0					
30						サシ	<i>Ceraeusignum maximum</i>				0																
31						サシ	Vermetidae	rr	0			rr															
32						サシ	<i>Erronea erronea</i>													0							
33						サシ	<i>Purpuradusta gracilis</i>																			0	
34						サシ	<i>Bistolida hirundo</i>																			0	
35						サシ	<i>Cybranula cribraria</i>																			0	
36						サシ	<i>Monetaria moneta</i>														0						
37						サシ	<i>Tyriostroma oshimaensis</i>	rr																			
38						サシ	<i>Polinices vavaoensis</i>					0															
39						サシ	<i>Polinices flemingianus</i>					0															
40						サシ	<i>Natica cermita</i>					0															
41						サシ	<i>Naticarius orientalis</i>				0																
42						サシ	<i>Coriophora cf. hamgerfordi</i>						0														
43						サシ	<i>Euphica versicolor</i>	0	rr	0	r	0	rr	0	rr		rr	0		rr			0				
44						サシ	<i>Euphica varians</i>					0															
45						サシ	<i>Nassarius (Natica) albescens</i>					0															
46						サシ	<i>Nassarius (Zeuxis) margaritifera</i>					0															
47						サシ	<i>Cantharus (Chapolla) pulchra</i>														rr						
48						サシ	<i>Neuroploca trapezium trapezium</i>													rr							
49						サシ	<i>Benimackia fastigia</i>														0						
50						サシ	<i>Vasum turbinellum</i>				0																
51						サシ	<i>Aspella medea</i>														0						
52						サシ	<i>Drupella margariticola</i>						0														
53						サシ	<i>Drupella cornus</i>					0															
54						サシ	<i>Maculotriton serialis serialis</i>																0				
55						サシ	<i>Morula aspera</i>					rr															
56						サシ	<i>Morula (Habronomula) sp.</i>																	rr			
57						サシ	<i>Drupa ricinus ricinus</i>																0				
58						サシ	<i>Coralliophila violacea</i>					0								0			0				
59						サシ	<i>Coralliophila monodonta</i>						rr	rr					0								
60						サシ	<i>Comus (Patercomus) distans</i>															0					
61						サシ	<i>Comus (Puncticulatus) arenatus</i>																	0			
62						サシ	<i>Comus (Virocomus) fulgetrum</i>																	0			
63						サシ	<i>Comus (Hamemicomus) spensalis</i>	rr																			
64						サシ	<i>Bullina lineata</i>					0															
65						サシ	<i>Joruwana fusca</i>																			0	
66						サシ	<i>Halgerda willeyi</i>															0					
67						サシ	<i>Hypsiodoris hyalineata</i>															0					
68						サシ	<i>Phyllidiella pustulosa</i>															0					
69						サシ	<i>Flavaeolidia lamina</i>	rr			0									rr	rr			rr	0	0	
70						サシ	<i>Plakobranchus ocellatus</i>		rr													0					

注 1) 周辺における○は出現を示す。

注 2) 表中の記号は概数を示す。

rr: 1~5 個体 r: 6~20 個体 +: 21~50 個体 c: 51~100 個体 cc: 101 個体以上

表 6.2.1-5 重要な種の確認状況（大型底生生物）

No.	門	綱	目	科	種名	供用時										指定状況							
						夏季 (R7.9)					冬季 (R8.1)					天然記念物	環境省 RL	環境省 海洋生物	沖縄県 RDB	干潟の絶滅危惧	水産庁 RDB	WWF-J	
						St.1	St.2	St.3	St.4	St.5	St.1	St.2	St.3	St.4	St.5								
1	軟体動物	腹足	新生腹足	ツマガイ	ヘソアキトミガイ			●															
2					トヨウタマガイ		●														IB		
3					ツクエガイ				●												IB		
4					ツクエガイ				●													希少	
5		頭足	八腕形	マダコ	シマダコ	●																減少傾向	
6	軟体動物	二枚貝	ウガイ	ウガイ	アコヤガイ										●							減少	
7					ツクエガイ										●						NT		
8					ヒメシャコ	●				●					●							減少	
9					ニッコウガイ					●							NT		NT	NT			
出現種数						2	1	2	1	1	2	0	1	2	2	0	1	0	1	4	3	2	
出現種数						6					4												

注 1) 指定状況は以下のとおり。指定状況のカテゴリーは表 5.1-1 参照。

環境省：「環境省レッドリスト 2020」（2020 年・環境省）

水産庁：「日本の稀少な野生生物に関するデータブック」（1998 年・水産庁）

沖縄県：「改訂・沖縄県の絶滅のおそれのある野生生物 第 3 版-レッドデータおきなわ-」（2017 年・沖縄県）

干潟：「干潟の絶滅危惧動物図鑑-海岸ベントスのレッドデータブック」（2012 年・日本ベントス学会編）

WWF-J：「WWF Japan Science Report vol.3 日本における干潟海岸とそこに生息する底生生物の現状」（1996 年・WWF ジャパン）

注 2) 枠内及び周辺域で確認された重要な種を示した。



図 6.2.1-5 確認された重要な種（大型底生生物）

表 6.2.1-6 枠内における重要な大型底生生物の生息状況（面積・個体数）

調査地点	大型底生生物	供用時			
		令和7年9月		令和8年1月	
		面積(m ²)	個体数	面積(m ²)	個体数
St.1	ヒメシヤコ	0.003	1	0.003	1
	シマダコ	0.041	1		
	合計	0.044	2	0.003	1
St.2	-				
	合計	0.000	0	0.000	0
St.3	-				
	合計	0.000	0	0.000	0
St.4	-				
	合計	0.000	0	0.000	0
St.5	-				
	合計	0.000	0	0.000	0

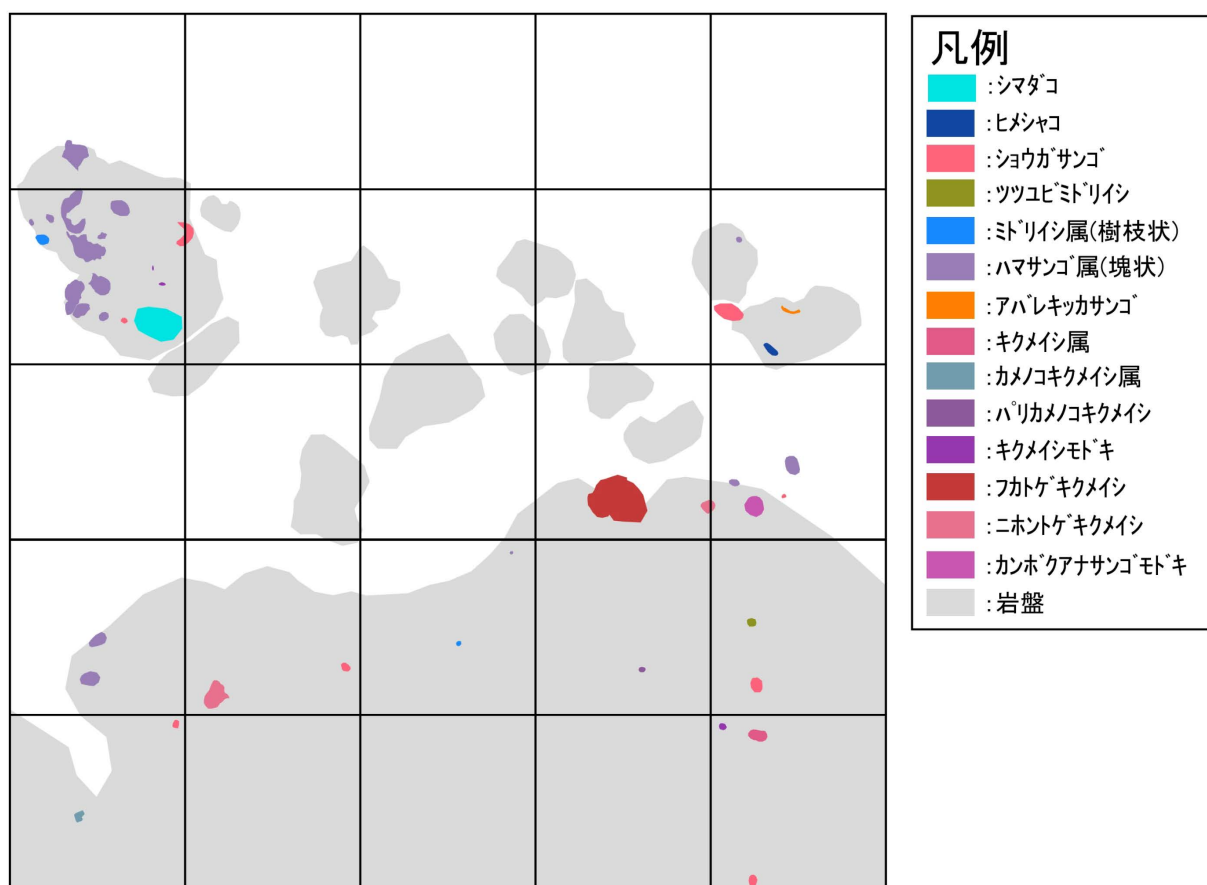


図 6.2.1-6 枠内の重要な海域動物(サンゴ類・大型底生動物) St.1: 夏季(R7.9)

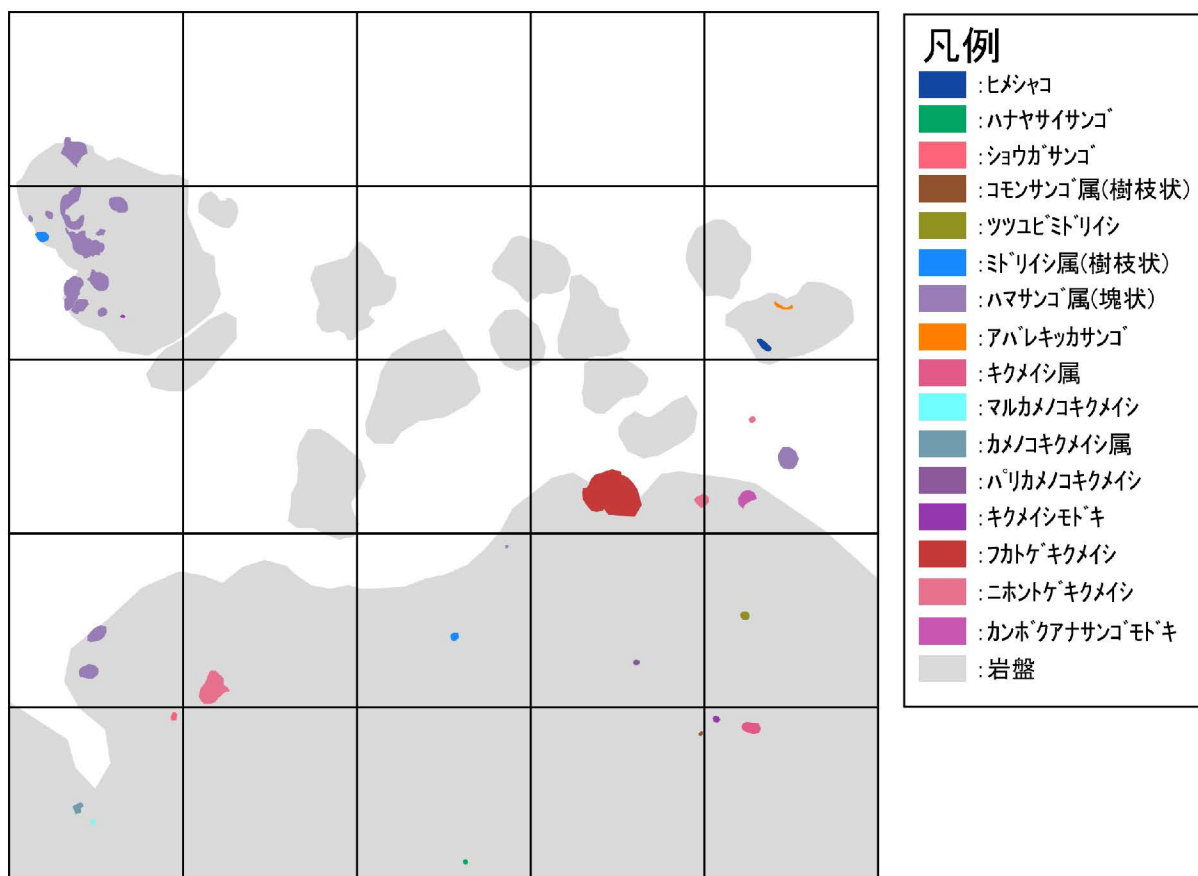
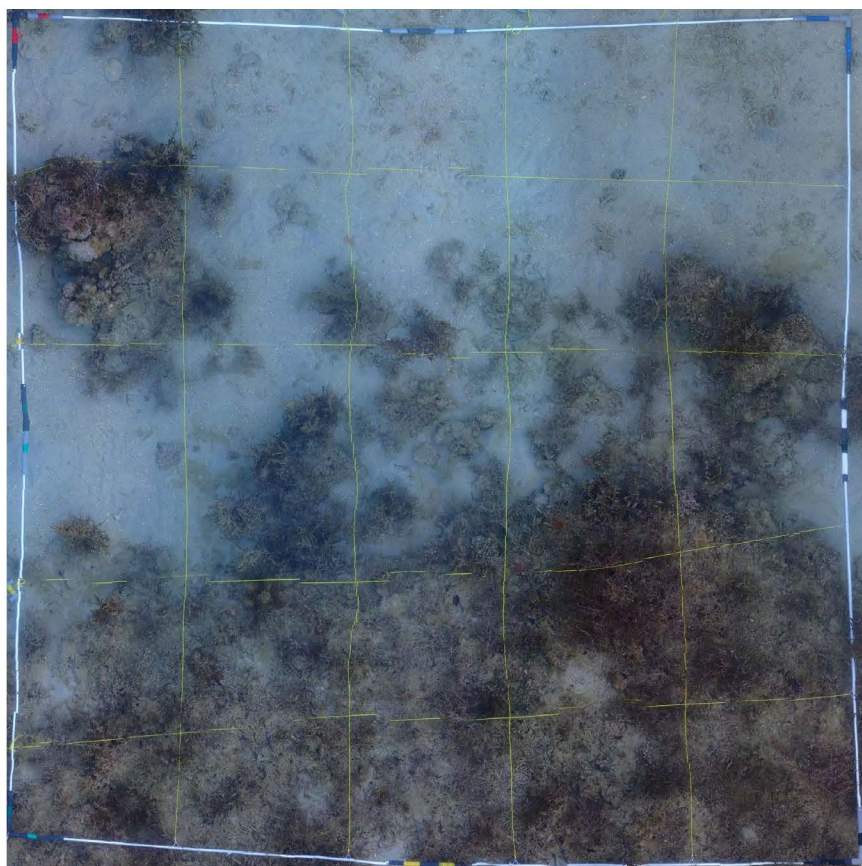


図 6.2.1-7 枠内の重要な海域動物(サンゴ類・大型底生動物) St.1 : 冬季(R8.1)

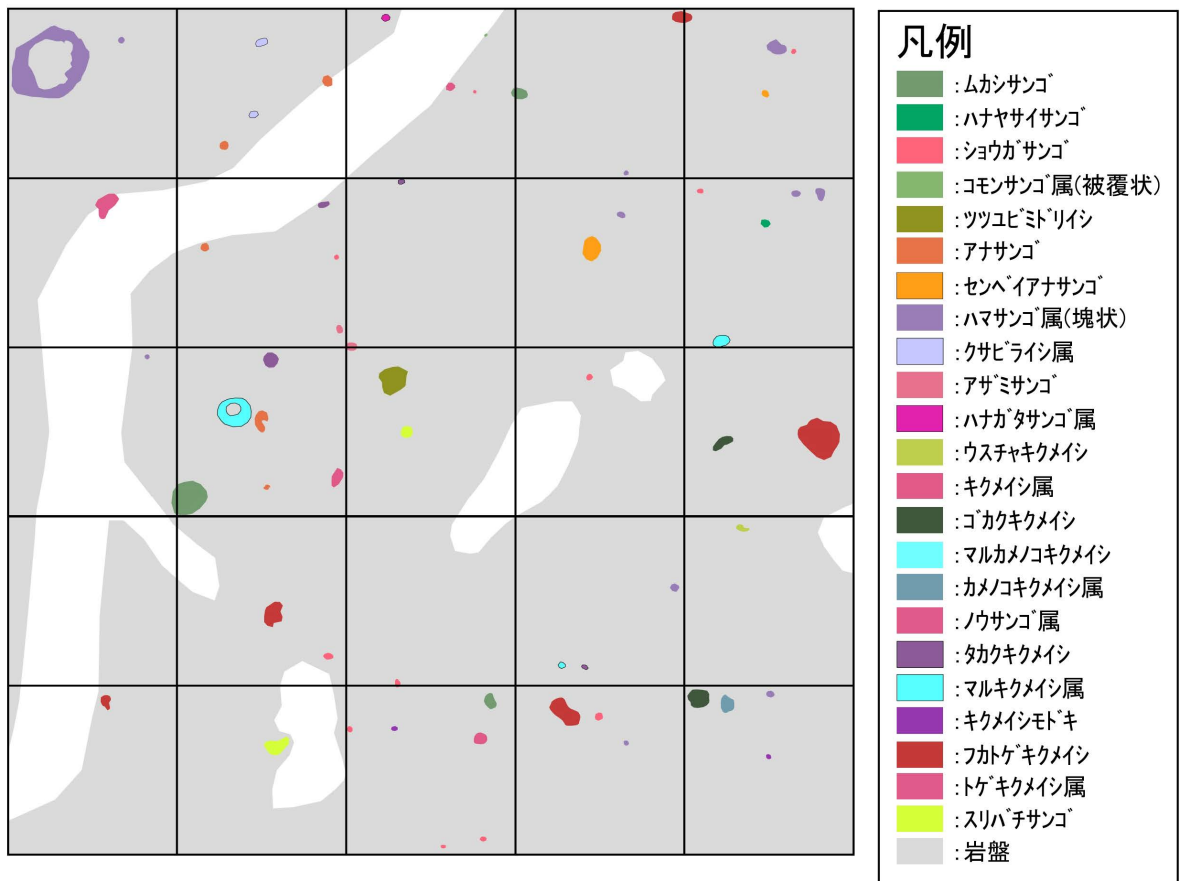
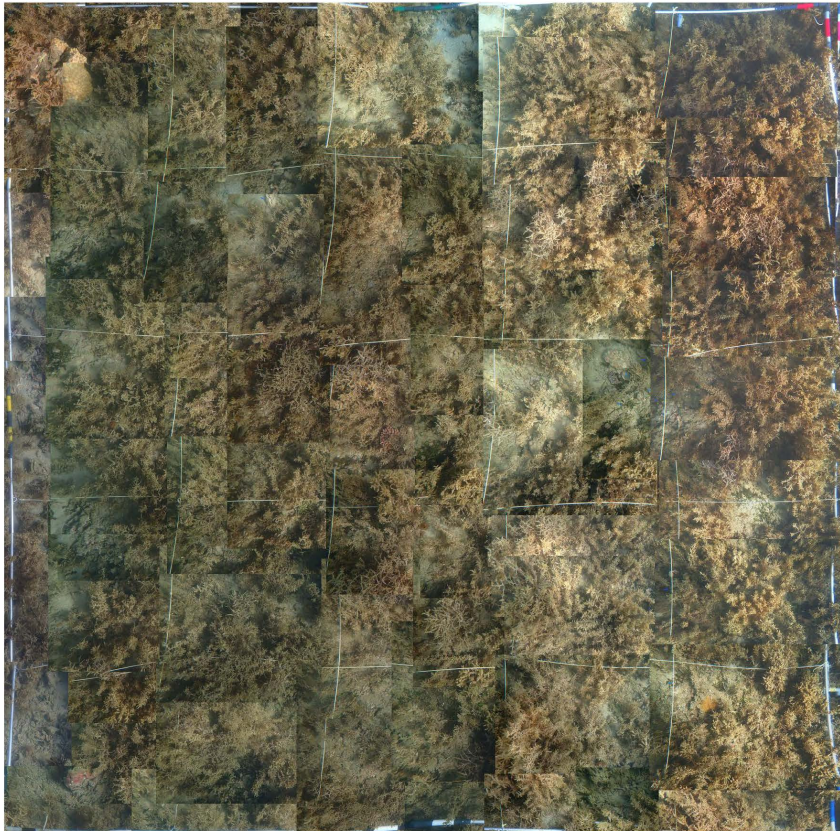
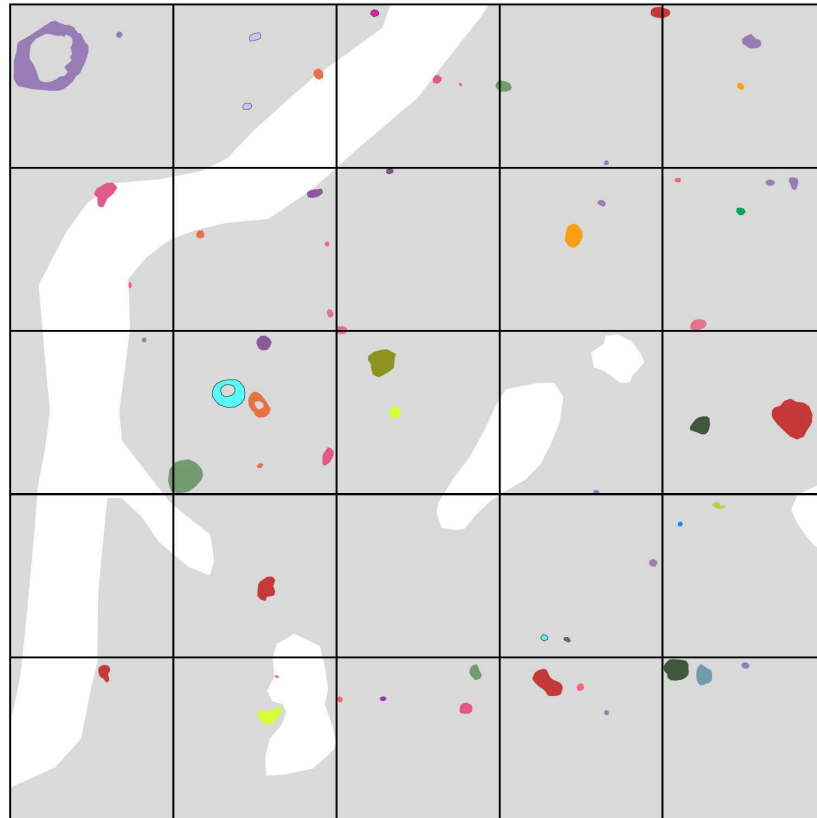
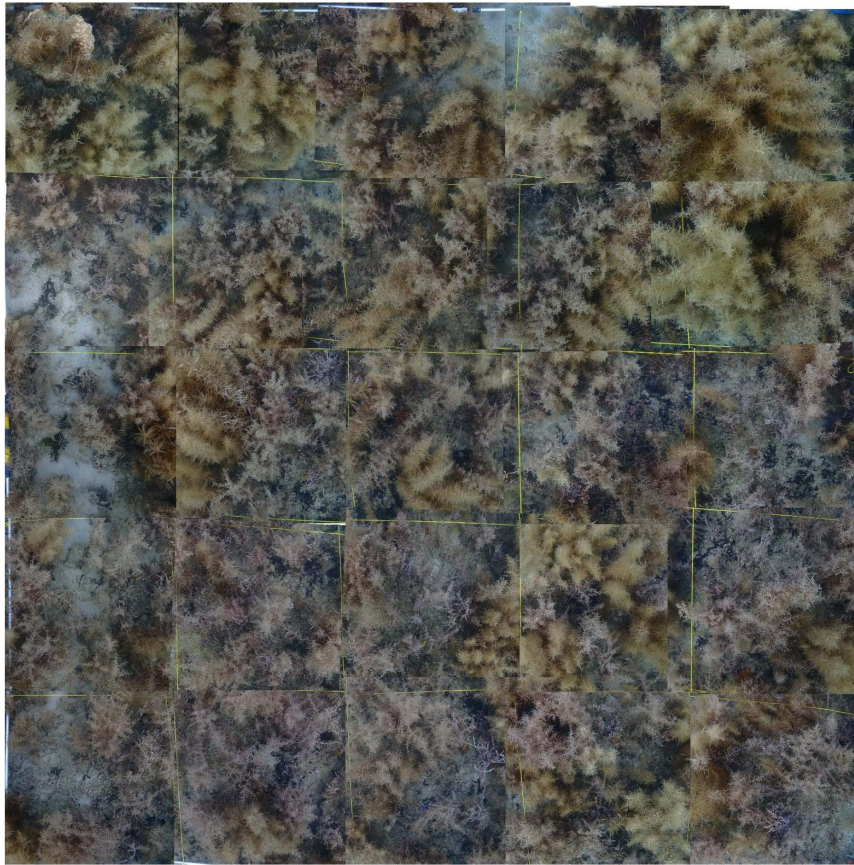


図 6.2.1-8 枠内の重要な海域動物(サンゴ類・大型底生動物) St.2 : 夏季(R7.9)



凡例

- :ムカシサンゴ
- :ハナヤサイサンゴ
- :ショウガサンゴ
- :ツツユビミドリイシ
- :ミドリイシ属(樹枝状)
- :アナサンゴ
- :センベイヤナサンゴ
- :ハマサンゴ属(塊状)
- :クサビライシ属
- :アザミサンゴ
- :ハナガタサンゴ属
- :ウスチャクメイシ
- :キクメイシ属
- :ゴカクキクメイシ
- :マルカメノコキクメイシ
- :カメノコキクメイシ属
- :ノウサンゴ属
- :効クキクメイシ
- :マルキクメイシ属
- :キクメイシモドキ
- :フカゲキクメイシ
- :トゲキクメイシ属
- :スリハチサンゴ
- :岩盤

図 6.2.1-9 枠内の重要な海域動物(サンゴ類・大型底生動物) St.2 : 冬季(R8.1)

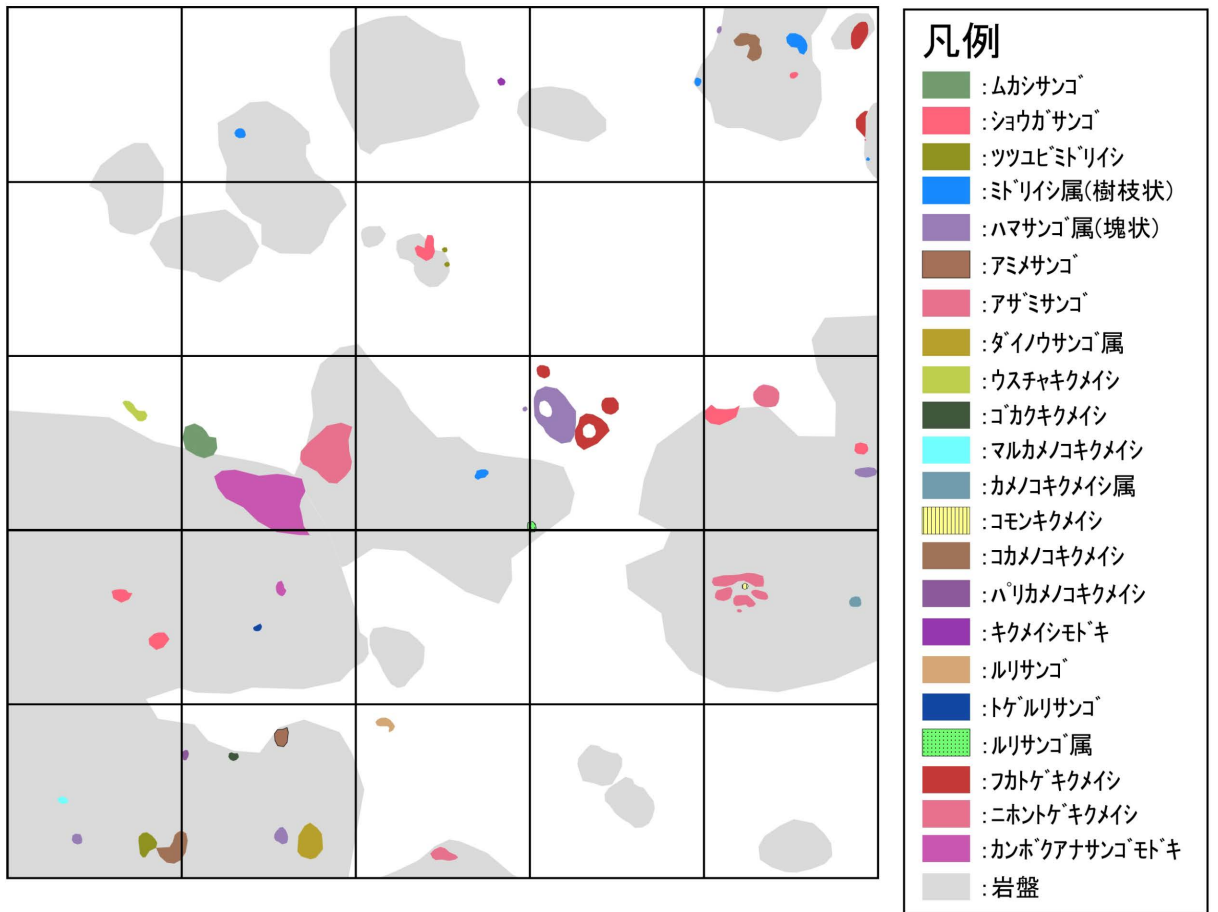
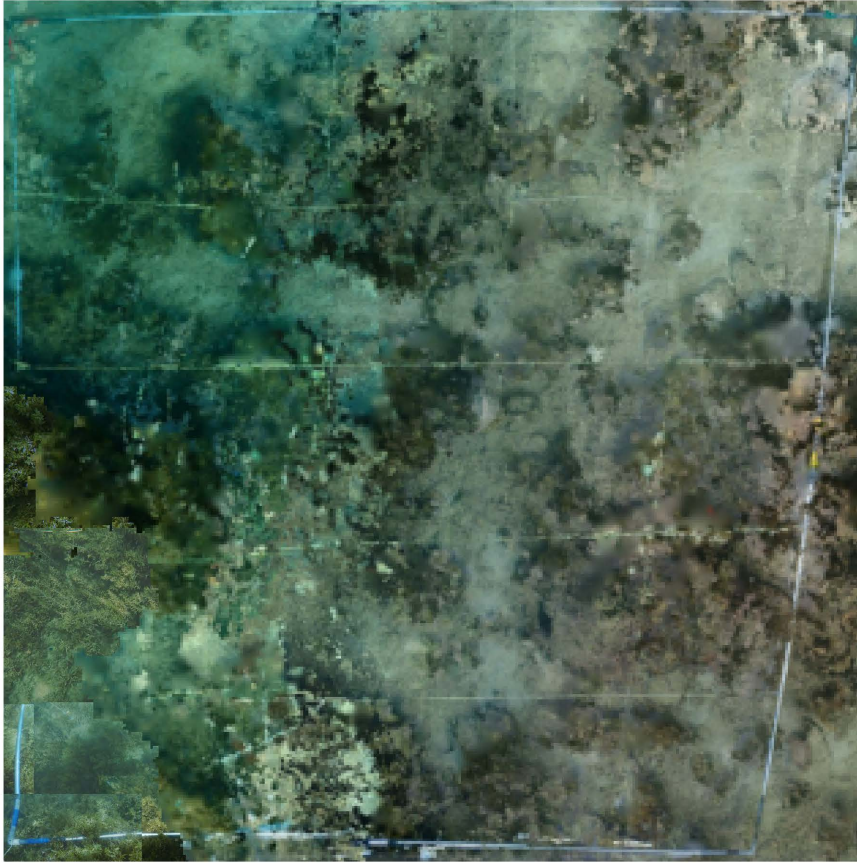
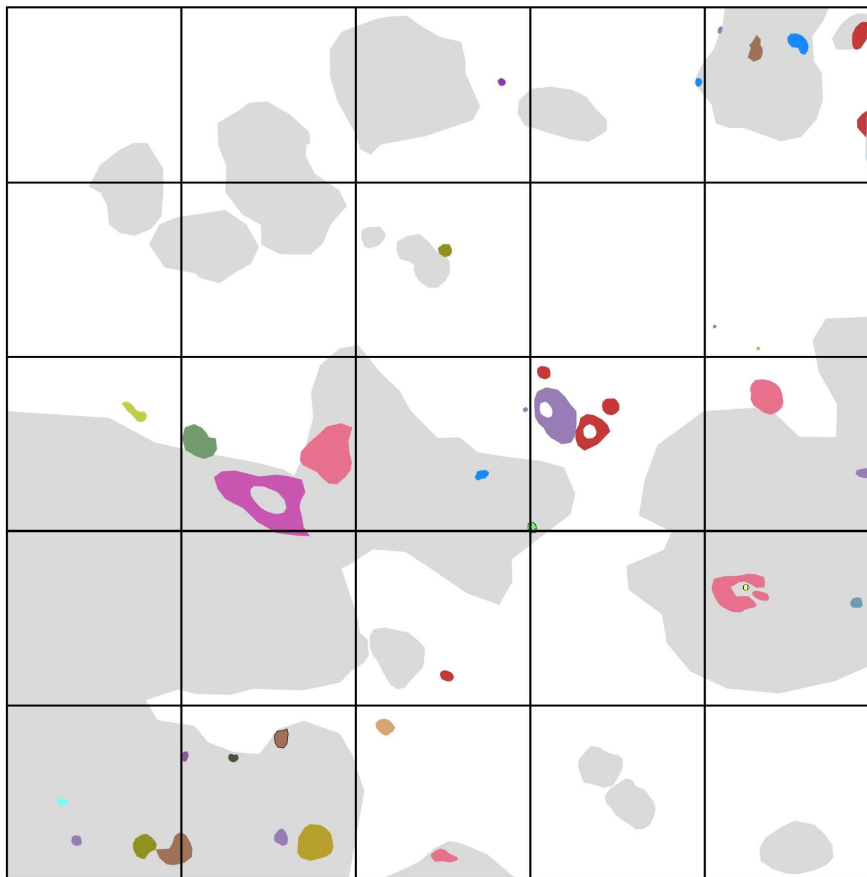
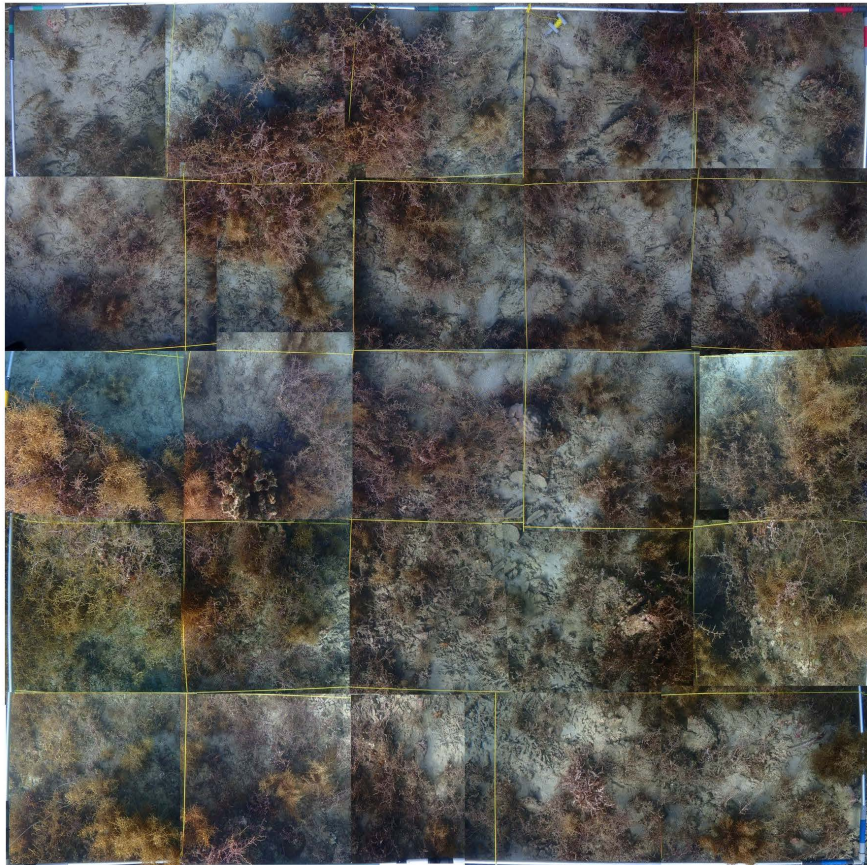
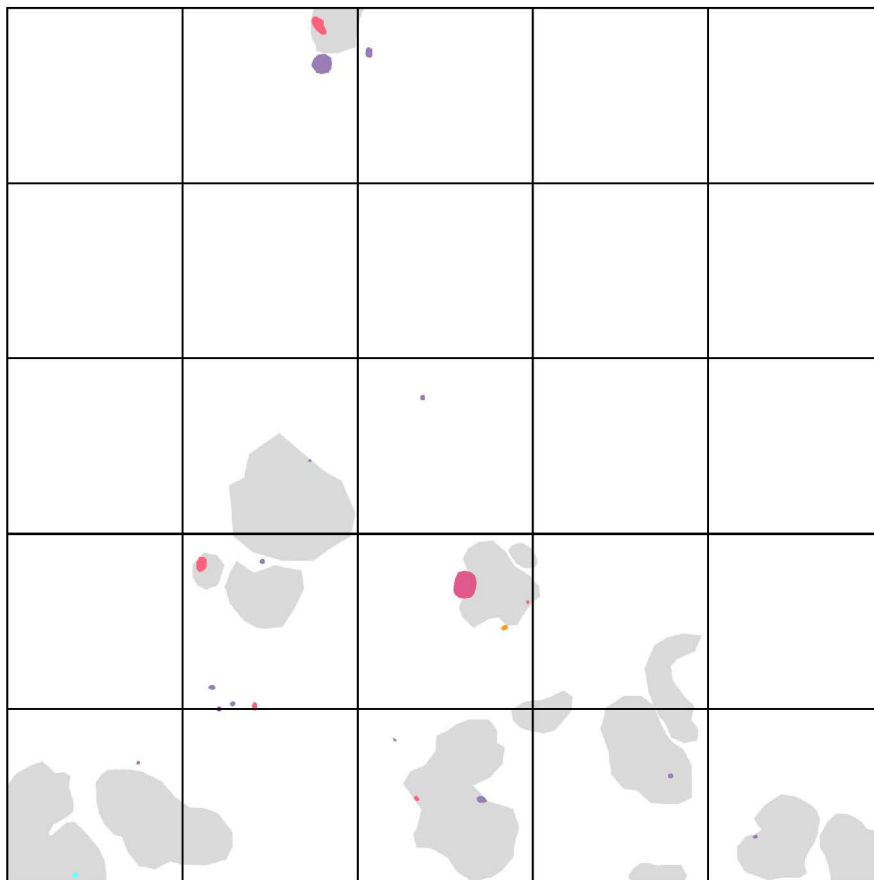


図 6.2.1-10 枠内の重要な海域動物(サンゴ類・大型底生動物) St.3 : 夏季(R7.9)



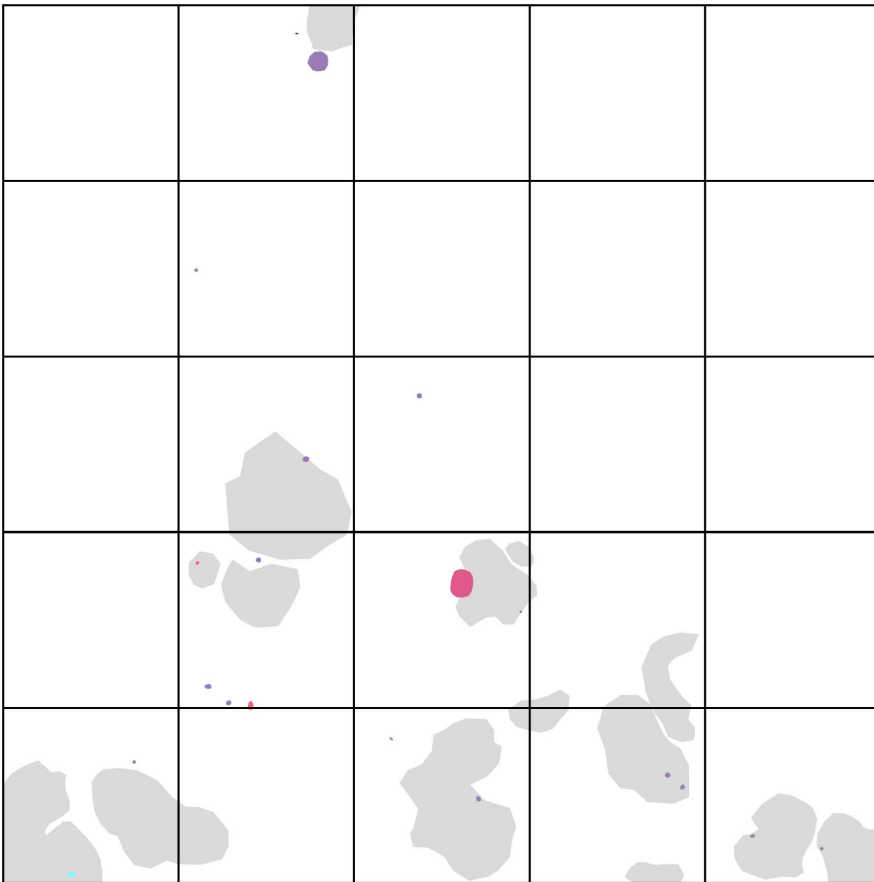
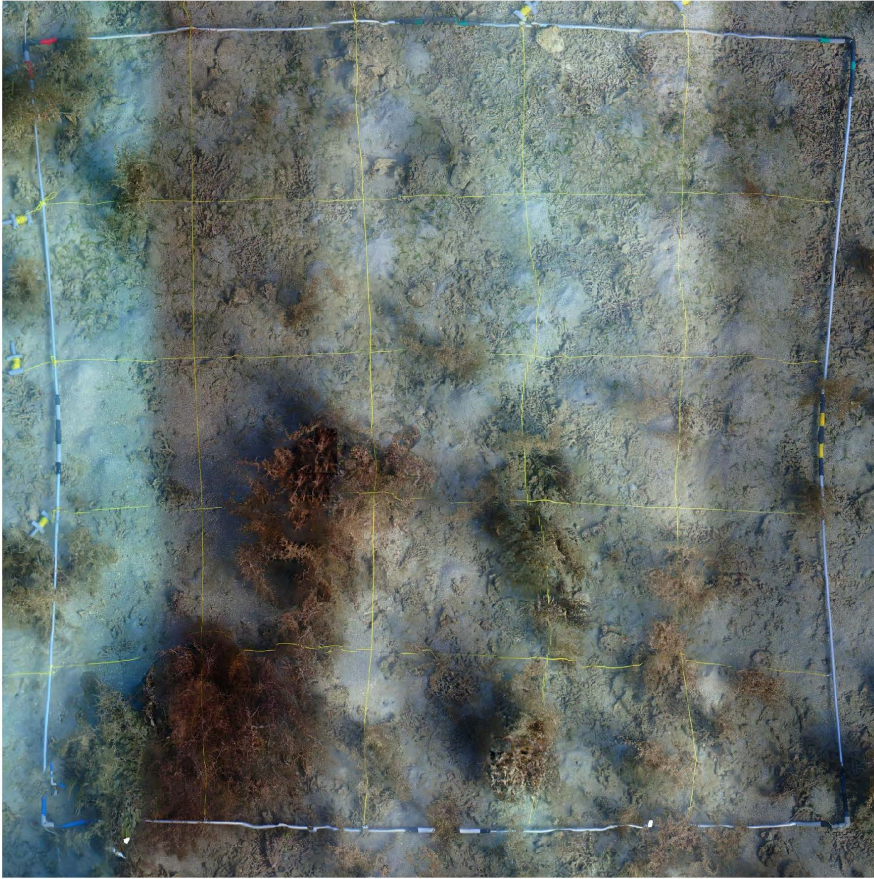
- 凡例**
- :ムカシサンゴ
 - :ツツユビミドリイシ
 - :ミドリイシ属(樹枝状)
 - :ハマサンゴ属(塊状)
 - :アミメサンゴ
 - :アザミサンゴ
 - :ダイノウサンゴ属
 - :ウスチャククメイシ
 - :ゴカククメイシ
 - :マルカメノククメイシ
 - :カメノククメイシ属
 - :コモンククメイシ
 - :コカメノククメイシ
 - :ハリカメノククメイシ
 - :ククメイシモトキ
 - :ルリサンゴ
 - :ルリサンゴ属
 - :フカゲククメイシ
 - :ニホントゲククメイシ
 - :カンボクアササンゴモトキ
 - :岩盤

図 6.2.1-11 枠内の重要な海域動物(サンゴ類・大型底生動物) St.3 : 冬季(R8.1)



- 凡例**
- :ヒメカシサンゴ
 - :ショウガサンゴ
 - :ハマサンゴ属(塊状)
 - :ヤスリサンゴ
 - :マルカメコキクメイシ
 - :キクメイシモドキ
 - :岩盤

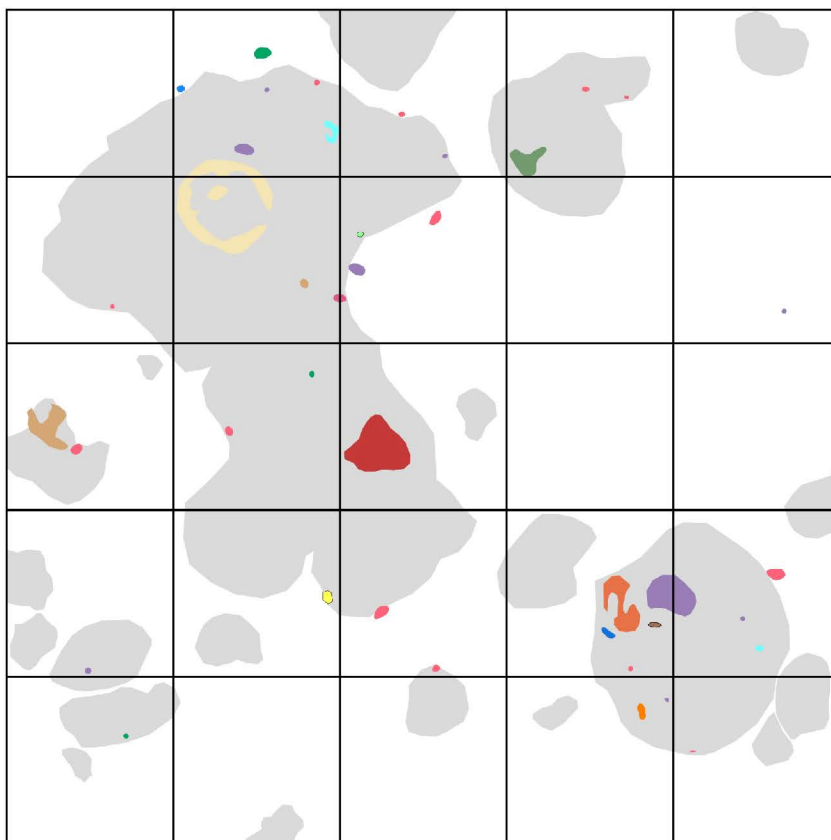
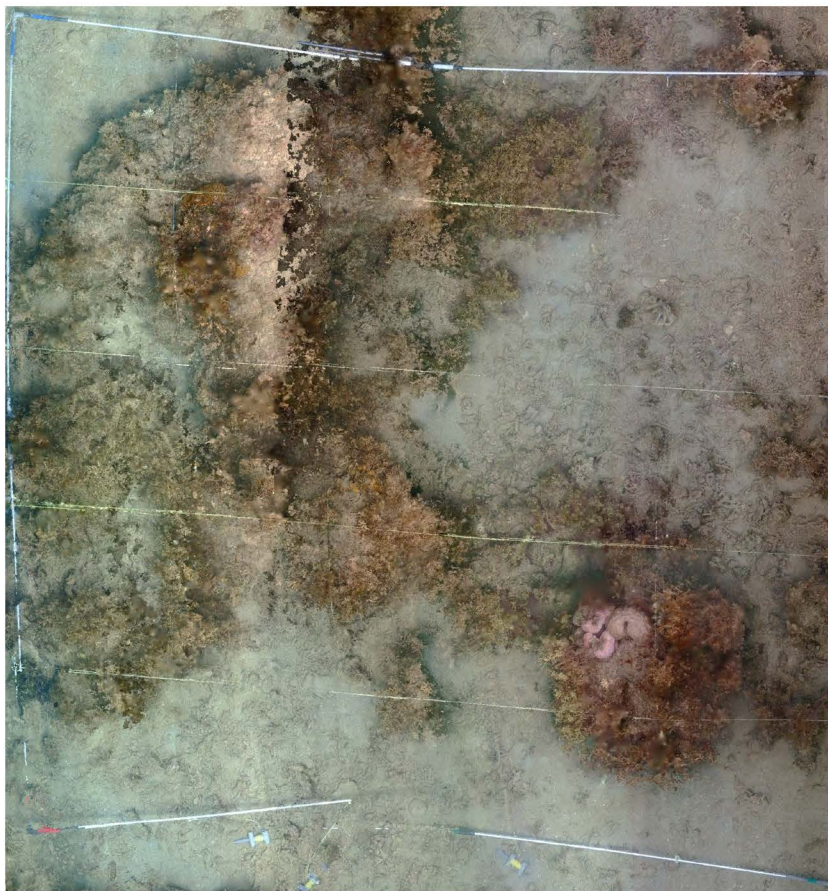
図 6.2.1-12 枠内の重要な海域動物(サンゴ類・大型底生動物) St. 4 : 夏季(R7.9)



凡例

- : ショウガサンゴ
- : ハマサンゴ属(塊状)
- : ヤスリサンゴ
- : マルカメノキクメイシ
- : キクメイシモチ
- : 岩盤

図 6.2.1-13 枠内の重要な海域動物(サンゴ類・大型底生動物) St. 4 : 冬季(R8.1)



- 凡例**
- :ムカシサンゴ
 - :ハナヤサイサンゴ
 - :ショウガサンゴ
 - :トゲスキミドリシ
 - :ミドリシ属(樹枝状)
 - :アナサンゴ
 - :ハマサンゴ属(塊状)
 - :アミメサンゴ
 - :アハレキッカサンゴ
 - :オトゲキクメイシ
 - :マルハナガタサンゴ
 - :マルカメコキクメイシ
 - :ルリサンゴ
 - :フカトゲキクメイシ
 - :コトゲキクメイシ
 - :トゲキクメイシ属
 - :岩盤

図 6.2.1-14 枠内の重要な海域動物(サンゴ類・大型底生動物) St.5 : 夏季(R7.9)

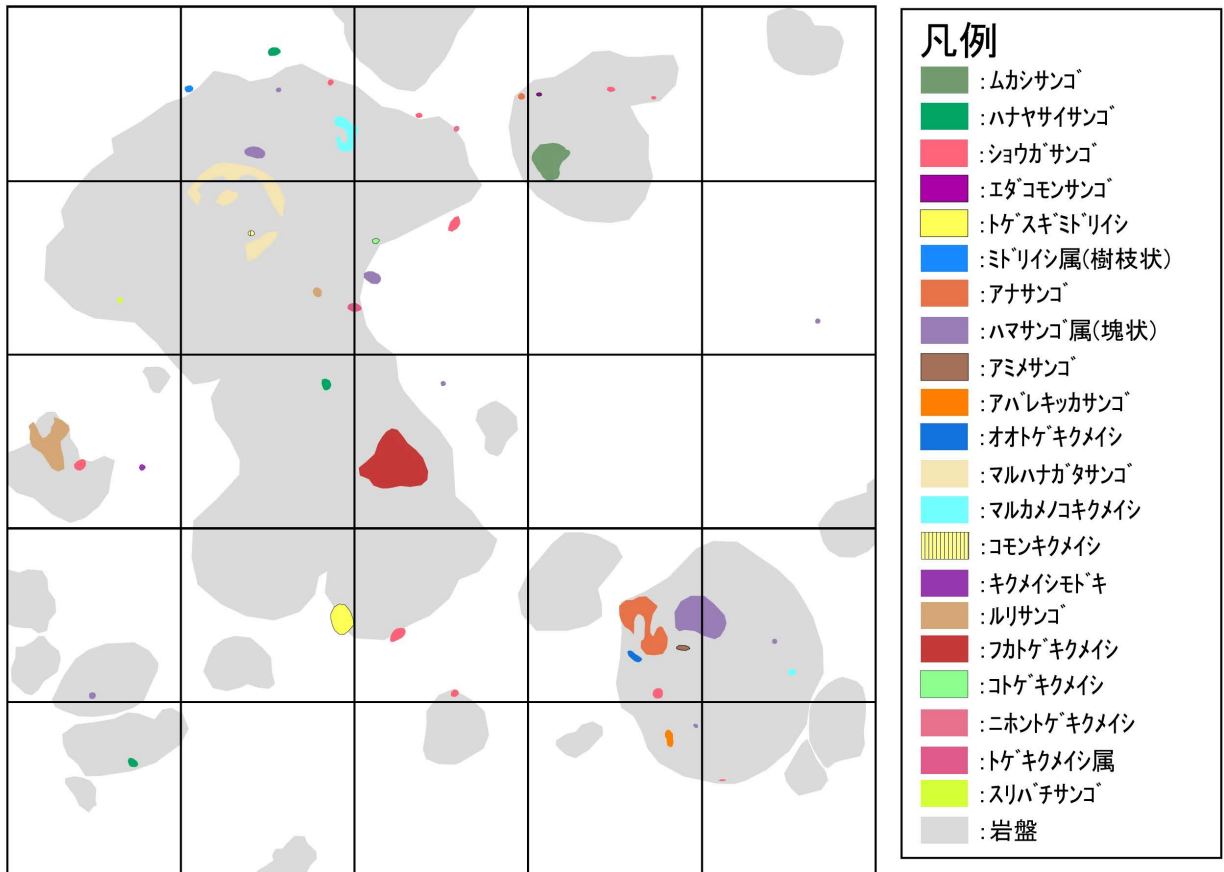
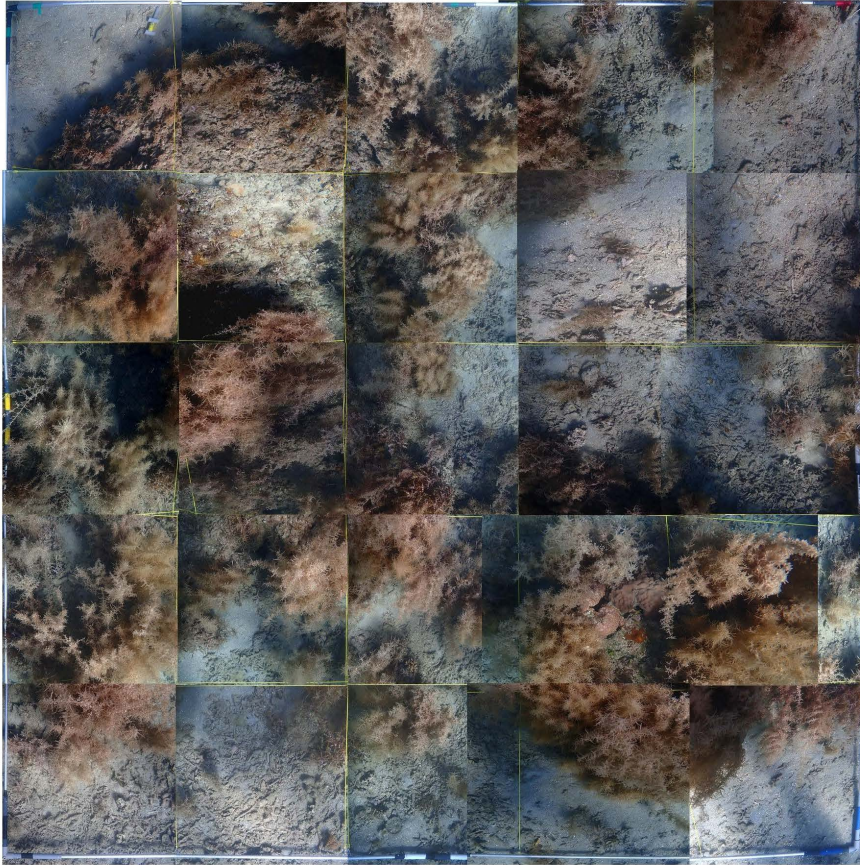


図 6.2.1-15 枠内の重要な海域動物(サンゴ類・大型底生動物) St.5 : 冬季(R8.1)

(2) サンゴ類

サンゴ類の確認種一覧は表 6.2.1-7 に、枠内の主な出現種として+（被度 1%以上 5%未満）で確認されたサンゴ類の写真は図 6.2.1-16 に示すとおりです。

サンゴ類の出現種数について、夏季は枠内で 6~23 種、周辺で 17~30 種の合計 49 種であり、枠内で St.2、周辺 St.3 で最も多く、St.4 が枠内及び周辺ともに最も少ない種数でした。冬季は枠内で 5~23 種、周辺で 15~25 種の合計 50 種であり、枠内及び周辺で St.2 が最も多く、St.4 が枠内及び周辺ともに最も少ない種数でした。2 季を合計すると、枠内で 5~23 種、周辺で 15~30 種の合計 52 種が確認されました。

サンゴ類の被度は全ての地点において 5%未満でした。枠内で確認されたサンゴ類の多くは被度 1%未満であったが、主な出現種として+（被度 1%以上 5%未満）で確認された種はショウガサンゴ(St.2、5)、ツツユビミドリイシ (St.3)、アナサンゴ(St.5)、ハマサンゴ属(St.1、2、5)、マルハナガタサンゴ(St.5)、フカトゲキクメイシ(St.2)、ニホントゲキクメイシ (St.3) でした。

サンゴ類の生息状況(面積・被度)は表 6.2.1-8 に、枠内の生息状況は、図 6.2.1-6~図 6.2.1-15 に示すとおりです。サンゴ類の生息面積について、夏季は 0.050~0.572m² であり、St.3 が最も生息面積が多く、St.4 で最も少なく、冬季は 0.037~0.544m² であり、St.3 が最も生息面積が多く、St.4 が最も少ない面積でした。

また今回、夏季の高水温によると考えられる白化現象が起きており、全地点において、その状況が確認されました。なお、一部ではそれによる斃死が見られたものの、被度や群体数に大きな影響はありませんでした。

表 6.2.1-7 サンゴ類の確認種一覧

No.	門	綱	目	科	種名	夏季 (R7.9)										冬季 (R8.1)															
						St. 1		St. 2		St. 3		St. 4		St. 5		St. 1		St. 2		St. 3		St. 4		St. 5							
						枠内	周辺	枠内	周辺	枠内	周辺	枠内	周辺	枠内	周辺	枠内	周辺	枠内	周辺	枠内	周辺	枠内	周辺	枠内	周辺						
1	刺胞動物	花虫	イソゾウ	ムギサソウ	ムギサソウ			r	○	r	○			○	r	○			○	r	○			○	r	○					
2					ヒメムギサソウ							r					○														
3					ハナササソウ			○	r	○			○	r	○			○	r	○			○	r	○			○	r	○	
4					シヨウガソウ	r	○	+	○	r	○	r	○	+	○	r	○	r	○	r	○			○	r	○	+	○	r	○	
5					ミトノリソウ			IG ⁺ ヨモソウ																					r		
6					ヨモソウ 属(樹枝状)														○	r										○	
7					ヨモソウ 属(被覆状)			r			○								○											○	
8					ツツミミトノリソウ	r	○	r		r	○			○				○	r	○	r		r	○			○			○	
9					ユビミトノリソウ															○								○			
10					トゲミトノリソウ													r											r		
11					ミトノリソウ 属(樹枝状)	r	○			○	r	○			○	r			○	r	○	r	○	r	○			○	r	○	
12					アサソウ			○	r	○			○			+	○			○	r	○		○				○		+	○
13					セキイソソウ				r	○			○							r	○									○	
14					ハヤソウ			ハヤソウ 属(塊状)	+	○	+	○	r	○	r	○	+	○	+	○	+	○	r	○	r	○	r	○	+	○	
15								ハダサソウ					○										○								
16					ヤサソウ			アサソウ				r	○			○	r	○					r					○	r	○	
17								ヤサソウ						r													r				
18					ヒラサソウ			ツツミソウ																						○	
19					カサソウ			カサソウ 属			r	○									r										
20					ヒメカサソウ			アサソウ			r	○	r						○		r	○	r							○	
21					カサソウ			アサソウ 属	r			○		○				r		r			○						r		
22					カサソウ			アサソウ 属									r												r		
23								アサソウ 属								+													+		
24								アサソウ 属			r	○					○				r	○							○		
25								アサソウ 属					r	○								○	r	○							
26								カサソウ			○	r	○	r	○					○	r	○	r	○							
27								カサソウ			○																				
28								カサソウ 属	r	○	r	○		○			○	r	○	r	○		○		○			○		○	
29								カサソウ 属		○	r	○	r	○					○	r	○	r	○								
30								カサソウ 属										○												○	
31								カサソウ 属		○	r	○	r	○	r		r		r	○	r	○	r	○	r	○	r		r		
32								カサソウ 属	r		r		r						r		r	○	r		○			○			
33								カサソウ 属					r	○			○					r	○						r		
34								カサソウ 属					r	○															○		
35								カサソウ 属	r	○			r	○					r	○		r									
36								カサソウ				○										○									
37								カサソウ 属			r			○					○		r				○				○		
38								カサソウ						○					○		○				○				○		
39								カサソウ			r			○					○	r	○			○					○		
40								カサソウ 属			r										r										
41								カサソウ 属	r	○	r	○	r	○	r	○		○	r	○	r	○	r	○	r	○	r	○	r	○	
42								カサソウ 属				○																			
43								カサソウ		○			r	○			○	r					r						r		
44								カサソウ		○								○													
45								カサソウ					r	○								○		○							
46								カサソウ 属					r										r								
47								カサソウ 属	r	○	+	○	r	○			○	+	○	r	○	+	○	r	○			○	+	○	
48								カサソウ 属										r											○	r	○
49								カサソウ 属	r	○			○	+	○			○		r	○		○	+	○			○	r	○	
50								カサソウ 属			r			○			○	r				r						○	r		
51								カサソウ		○	r	○			○			○				r	○			○		○	r	○	
52								カサソウ	r	○			○	r	○			○				○	r	○			○	r	○	○	
出現種類数						12	19	23	23	22	30	6	17	16	22	15	20	23	25	20	23	5	15	21	23						
サンゴ類の被度						+	-	+	-	+	-	+	-	+	-	+	-	+	-	+	-	+	-	+	-	+	-				

注1) 表中の○は出現を示す。

注2) 表中の記号は被度(%)を示す。

r: 1%未満、+: 被度1%以上5%未満